

2021・小学校中学年「ゆりの木荘の子どもたち」

□この本を選んだ理由は、だからです。

□この本を読むまで七十七年前のことについてあまり考えたことはありませんでした / 知りませんでした。

□ゆりの木荘に暮らすおばあちゃんやおじいちゃんが子どもになってしまいます。もし私のおばあちゃん /

おじいちゃん / おかあさん / おとうさんが、急に子どもになってしまったら、

だと思います。

なぜなら だからです。

□もし逆に私が、おばあちゃん / おじいちゃん / おかあさん / おとうさんが子どもだったころに行けたとしたら、

私は、してみたい / 聞いてみたい / 見てみたいです。

□今の私たちのくらしと、サクラさんたちが子どもだったころをくらべると

なところが似ています / おどろきました。

□サクラさんの子どもころの話聞いて、私は

だと思いました。

□もし戦争が終わってすぐに、ゆりの木荘に行ってやくそくをまもっていたら、

だったのではないか と思いました。

□七十七年前のゆりの木荘での約束を守るためになぞときが必要になります。私は なぞときはとくいなので～ /

とちゅうでなぞがわかったので～ / さいごまでなぞがわからなかったの～ / なぞがとけたときは～

□私が この本を読んで / サクラさんのお話を聞いて、一番 おどろいた / 感動した / 考えさせられた ことは、

です。

なぜなら だからです。

私は という気持ち / 考え になりました。

□この本を読む前は、戦争のこと / 昭和のこと / 座敷童 について深く / まじめに考えたことはありませんでした。

この本を読んで

と 感じました / 考えました。

もし自分の家に / 身近に、座敷童がいたら、

と思いました。

なぜなら だからです。